



長野 基 (ながの もと)

准教授・修士(政治学)

- 行政学
- 地方自治論
- ローカル・ガバナンス
- 質的研究方法論
- 都市制度論演習

E-mail: nagano@tmu.ac.jp
URL: <http://researchmap.jp/read0205195/>



市民参加型ワークショップ形式での自治体事業評価(さいたま市)

“地方自治における市民参加”を立脚に、自治体計画づくりや事業評価における市民参加のあり方、“技術合理性と民主性”の接点である審議会や自治体議会の研究を行っています。

担当する「都市制度論演習」では、都市政治・行政の諸現象を分析する政治学における理論的枠組みを議論し、課題演習を通じてこれら枠組みを事例分析に応用する知見を培います。現代の都市を巡る理論・実態分析そして政策提案を“大学院生は共同研究者”の立場から共に学んでゆきたいと思っております。



松井 望 (まつい のぞみ)

教授・修士(法学)

- 行政学
- 都市行政論
- 公務員制
- 自治体行政学特論
- 自治体行政学演習

E-mail: matsui-nozomi@tmu.ac.jp
URL: <https://sites.google.com/site/nozomimatsui/>



自治体行政の現場から問いを見つけ出します ～伝統的建造物群保存地区の調査から～

自治体の行政管理を研究しています。特に、自治体の意思決定手続と調整メカニズム、基本計画の策定と実施、人事管理、公共施設・公共空間の管理、公民連携等が研究テーマです。自治体行政学特論では、自治体行政に関する理論と現実の自治体行政の論点を講義します。自治体行政学演習では、自治体行政に関する古典的な研究から近年の研究動向を踏まえたうえで、自治体行政上の実践的課題等を議論します。



山本 薫子 (やまもと かほこ)

准教授・博士(社会学)

- 都市インナーエリア
- 多文化社会
- 都市コミュニティ
- 都市社会学入門
- 市民社会論

E-mail: kahoruko@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ya/872.html>



カナダの都市バンクーバーで居住環境の改善を求める住民団体

常に変化する都市社会の中でも都心部に近接したインナーエリアは低所得層や外国人・移民の集住が見られ、貧困など多くの社会問題を抱えている一方で、新たな文化、ビジネスが生まれ、常に人々が行き交う場でもあります。私はそうした地域の変化が特に低所得層や外国人・移民の生活にどのような影響を及ぼすか、研究を行っています。「都市社会学入門」では都市社会を考えるための基礎を習得し、「市民社会論」では異なる背景を持った人々が暮らす都市社会での課題や実際の試みについて実践的に学びます。

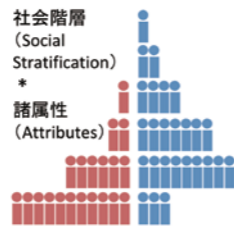


脇田 彩 (わきた あや)

助教・博士(社会学)

- 社会学
- 社会調査法
- 社会階層と属性(ジェンダー、地域等)による不平等
- プロジェクト総合研究

E-mail: ayawakita@tmu.ac.jp
URL: <https://researchmap.jp/awakita/>



社会階層と属性(ジェンダー、地域等)による不平等を研究

社会階層と属性(ジェンダー、地域、世代等)による複合的な不平等を解明する研究を行なっています。とくに現代の都市においては、グローバル化や少子高齢化を背景とした、複合的で捉えがたい不平等が広がっています。階層再生産、職業に対する人々の評価、人々の幸福度などに着目して、その不平等を実証的に分析していきます。

分析においては、量的・質的社会調査データを自ら収集するほか、国内外の公的統計を積極的に利用し、計量社会学的手法も用いて研究を進めていきます。



和田 清美 (わだ きよみ)

教授・博士(社会学)

- 都市社会学
- コミュニティ論
- 都市問題と都市政策研究
- 比較都市・まちづくり論
- 都市コミュニティ特論
- 都市コミュニティ演習

E-mail: wada-kiyomi@tmu.ac.jp
URL: <http://www.urbanpolicy.tmu.ac.jp/wada.html>



2016年度演習での東京谷中・浅草のまち歩きの様子ーコミュニティ形成・まちづくり調査から

専門は、都市社会学・コミュニティ論です。とくに近年は、1970年代のコミュニティ形成・まちづくり運動の振り返りと、その連続性の視点から、現代日本の大都市および地方都市のコミュニティ形成・まちづくり活動と政策の検証を行っています。同時に、日本と台湾のコミュニティ形成・まちづくり活動の比較研究も進めています。

東京都立大学 大学院 都市環境科学研究科 都市政策科学域

Tokyo Metropolitan University Graduate School of Urban Environmental Sciences Department of Urban Science and Policy

学外者対象の筆記試験免除制度あり

社会人特別選抜制度あり

文系・理系を超えた領域融合型

募集人員

博士前期課程: 15名

博士後期課程: 5名

入学試験

夏季試験 8月実施

冬季試験 2月実施

本学域の概要と特色

○複雑で日々変化を遂げる現代の都市に対し、様々な学術分野から総合的・体系的にアプローチし、都市づくりに貢献する実務家や研究者を育成することを目的としています。

○入学試験では、一般選抜入試に加えて、社会人学生を対象に「社会人特別入試」を実施します。また、仕事や育児・介護等をしながら研究する学生のため、「長期履修制度」が設けられています。

○博士前期課程においては、実践的な知識・能力を習得したい学生のため、学位(修士)論文に代えて、「特定の課題についての研究の成果」によっても修了できるしくみになっています。

○研究を進める際には、指導教員による指導以外に、全教員が参加する「都市政策科学セミナー」が定期的開催され、分野横断的な研究指導が行われます。また、自治体や学外団体と連携した研究・教育や、協定を結んでいるアジアの大学との交流にも力を入れています。

主な博士前期課程の講義・演習

都市政策科学概論	都市政策科学セミナー
都市空間解析特論・演習	都市空間論演習
参加型デザイン実習	参加型ワークショップ特論
都市環境計画特論・演習	都市環境経済学特論・演習
都市防災計画特論・演習	都市住居論特論
都市政策法務演習	法と経済学特論
行動法と経済学演習	公共政策演習
自治体行政学特論・演習	財政学特論
自治体環境行政法特論	都市社会論特論・演習
都市コミュニティ特論・演習	都市健康福祉論特論・演習
質的研究方法論特論	都市空間プランニング実習
都市制度論演習	グローバル都市東京研究
社会調査法特論	GIS特別演習

近年の主な修士・博士論文題目

※前身の都市システム科学域の修了者

- 活火山を有する離島における個人および地域としての災害時対応行動に関する考察
- 二段階避難を考慮した避難場所の空間圏域構成に関する研究
- 天空率の詳細分布と人の感覚に関する研究ー天空率算出システムの提案ー
- 米軍ハウスをめぐる社会環境の変遷と地域における役割の変化ー福生市・瑞穂町を中心にー
- 時空間行動データ解析の精密化と拡張ーGPSデータ活用による行動内容推定・類型化手法の提案ー
- スマートシティの形成要件と実現方策に関する研究ースマートハウスと電気自動車に着目してー
- 地域におけるがん終末期患者の緩和ケアシステム構築とその支援に関する研究
- 東京区部における既成市街地の防災性能向上を目的とした細街路整備諸施策のあり方に関する研究

修了生の主な進路

※前身の都市システム科学域の修了者

大学教員(東京都立大学、東京大学、福島大学、日本女子大学、東京家政大学等) / 研究機関(電力中央研究所) / 国家公務員(国土交通省) / 地方公務員(東京都庁、渋谷区、世田谷区、新宿区、八王子市、町田市、横浜市、川崎市、さいたま市等) / 都市再生機構(UR) / 森トラスト / 大成建設 / 大林組 / 京王電鉄 / 東急電鉄 / JR 東日本 / 日本設計 / パシフィックコンサルタンツ / 国際航業 / 市浦都市開発建築コンサルタンツ / ミサワホーム / 大和ハウス工業 / 藤木工務店 / リビタ / 東京三菱UFJ 信託銀行 / イオンモール / リクルートジョブズ / 他



入試に関するお問い合わせ

東京都立大学 都市環境学部教務係(南大沢キャンパス9号館2階)
TEL: 042-677-1111(代) 内線4027
受付時間 ▶月～金曜の9:00～12:30 / 13:30～17:00

その他のお問い合わせ

都市政策科学域事務室(南大沢キャンパス9号館5階)
TEL: 042-677-1111 内線4271
E-mail: usswww@tmu.ac.jp

専任教員紹介 (2019.10.1)



饗庭 伸 (あいば しん)

教授・博士(工学)

- 都市計画
- まちづくり
- ワークショップ手法
- 参加型デザイン実習
- 参加型ワークショップ特論

E-mail: aib@tmu.ac.jp
URL: <http://www.comp.tmu.ac.jp/shinaiba/frame2.htm>



都市空間を豊かにする実験をDIYで実際につくってみる「参加型デザイン実習」

都市計画とまちづくりの実践と理論について研究を行っています。近年の大きな主題は「都市をたたく」をキーワードとした人口減少社会における都市計画と、人々が都市の中で個別に集まってつくる開放性を帯びた小さな場において、空間のデザインを議論し、それを実現する組織を整え、一つ一つの実現を支援する「ワークショップ」と総称される手法です。参加型ワークショップ特論ではその手法開発を、参加型デザイン実習ではその実験を行い、研究室では常に2-3の現場を並行させて実践的な研究を行っています。



朝日 ちさと (あさひ ちさと)

教授・博士(都市科学)

- 政策評価
- 費用便益分析
- 社会資本整備
- 都市環境経済学特論
- 都市環境経済学演習

E-mail: asahi@tmu.ac.jp
URL: <http://upc2107.com/>



データ分析を裏付ける現場の情報も大事にしています。

政策の効果に関する経済学的分析を行っています。持続可能な地域や環境を実現するためには、環境や安全(リスク)も含めて公共政策の効果分析・評価し、意思決定に反映させることが重要です。都市環境経済学特論では、経済的評価の基本である費用便益分析、さらに効率性を含め多元的な基準を扱う多基準分析の理論と手法について議論します。都市環境経済学演習では、実証分析を通して、政策の意思決定における評価の役割と課題について議論します。



市古 太郎 (いちこ たらう)

教授・博士(都市科学)

- 災害復興
- 都市防災計画
- 防災まちづくり
- 観光環境地図学
- 災害社会論

E-mail: ichiko-taro@tmu.ac.jp
URL: <http://disaster-research.cocolog-nifty.com/blog/>



災害後の「はらっぱ公園」活用デザインワークショップ

国内外の大都市が抱える課題として、地震や台風といった自然災害に対する脆弱性があります。建物の耐震化や耐火化、避難空間整備、情報伝達・共有システムの構築といった事前対策に加え、大災害後の長期的な生活や住まいの回復についても対策が進められています。公共・民間を問わず、危機管理能力や災害対応力は、今後ますます社会で求められる力になっています。都市計画学と防災科学の知見を基に、災害復興の現場から学びつつ、安全安心な都市を創り、マネジメントしていく方法論を身につけていきませんか。



伊藤 史子 (いとう ふみこ)

教授・博士(工学)

- 都市・地域計画と評価
- 都市・地域解析
- 都市環境心理・行動分析
- 都市環境計画特論・同演習
- GIS特別演習

E-mail: itofumi@tmu.ac.jp
URL: <http://www.comp.tmu.ac.jp/fiweb/>



ニューラルネットワークモデルによる土地利用変化予測

都市環境を形づくっていくための計画立案や評価に有効な、数理的アプローチやGISを用いて研究しています。都市に集い、居住し、活躍する人々の心理や様々な行動は、都市の状態やその変化と、どのように関連するのだろうか？ここに注目すると、実際の都市の中から様々な研究課題が浮かび上がってきます。授業ではこれらの研究手法とそのコツを分かりやすく学びます。簡単な分析にも一緒に挑戦してみましよう。



奥 真美 (おくまみ)

教授・修士(法学)

- 環境法
- 行政法
- 都市政策法務
- 都市政策法務演習
- 自治体環境行政法特論

E-mail: oku-mami@tmu.ac.jp
URL: <http://www008.upp.so-net.ne.jp/mamioku/>



諸外国との比較の視点、自治体や企業での実践を意識した環境法政策の研究をしています

環境マネジメントシステムと環境規制、気候変動対策に係る多様な政策手法、自治体における環境法政策、まちづくり・都市形成に係る法政策を主な研究テーマとしています。たとえば、都市政策法務演習では、政策展開過程で法が果たす役割、法的な手法とそれ以外の政策手法との組み合わせ(ポリシーミックス)による政策課題への対応の重要性について理解したうえで、まちづくりや都市形成においていかなる政策手法がどのように組み合わせられるなかで課題解決が目指されているのかを具体的な事例研究をもとに検討していきます。



金子 憲 (かねこ あきら)

准教授・修士(経済学)

- 財政学
- 地方財政
- 公共経済学
- 財政学特論
- 公共政策演習

E-mail: akaneko@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ka/398.html>



国や地方公共団体などの政策を分析します。

現在の我が国が直面している様々な政策課題に焦点をあてながら、国や地方公共団体などの公共部門が行う政策を、財政構造と関連させながら政策的観点から分析を行います。こうした政策分析を通して、財政の役割とその仕組みに関する理解を深めるとともに、政策論に必要な分析手法を重点的に修得することによって、今後の我が国の政治・経済・財政全般に関する幅広い視野と政策形成に資する能力を身に付けることを目標とします。

● 研究キーワード — 主な担当講義



白石 賢 (しらいし けん)

教授・博士(法学)

- 法と経済学
- 経済刑法
- 行動経済学
- 企業犯罪研究
- 法と経済学特論
- 行動法と経済学演習

E-mail: shiraishi-ken@tmu.ac.jp
URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shiraishi-ken/>



法制度設計により社会問題の解決を目指す

企業犯罪研究では、法と経済学に基づいた、企業の違法な経済活動の法規制のあり方を研究しています。法と経済学とは、法のあり方を経済学の視点から検討するものです。実際の政策決定の場においては、経済学・法学双方からのアプローチが必要なことは言うまでもありませんが、特に法制度設計におけるインセンティブの考え方は重要です。学生のみならずには、法学、経済学、そしてインセンティブの根本にある心理学の知識を駆使し、現実の社会問題を解決する望ましい法制度を設計してもらいたいと思います。



杉原 陽子 (すぎはら ようこ)

准教授・博士(保健学)

- 健康社会学
- 高齢者福祉
- 社会老年学
- 公衆衛生学
- 都市健康福祉論特論・同演習

E-mail: sugihara@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/sa/12757.html>



高齢者や介護者への支援策を実証研究に基づき検討しています

「健康の社会的決定要因(社会経済状態、社会関係、地域環境など)」「ストレスと対処資源」「コミュニティエンパワーメントと健康」について主に研究しています。現在取り組んでいる研究プロジェクトは、「介護政策と地域支援システムの評価」「プロダクティブ・エイジングとストレスマネジメント」「高齢者における社会経済状態による健康格差のメカニズム」等です。大学院の修士課程では、都市における個人や家族の生活と健康を改善するための理論、研究方法、実践について教えています。



高道 昌志 (たかみち まさし)

助教・博士(工学)

- 都市史
- 都市計画
- まちづくり
- 情報リテラシー実践1
- 実習 都市統計解析

E-mail: takamichi@tmu.ac.jp



研究成果をベースに水辺空間の活用に向けた実践的な提案を行っています(外灘でのワークショップから)

都市空間の歴史と、地域特性を活かしたまちづくりの手法について、実践的な研究を行っています。特に、河川や濠をはじめとした都市と水の関係性に注目しています。都市の基盤を支える水辺には、歴史的に様々な生業や産業が生まれ、それを介して人や物、情報や文化のネットワークが育まれてきました。こうした仕組みを解明しながら、地域再生のための計画手法を探っていくことが研究の構想です。現地でのフィールドワークも積極的に取り入れながら、都市や地域の未来を考えていきます。



玉川 英則 (たまがわ ひでのり)

教授・工学博士

- 都市・地域解析
- 都市・地域計画
- 都市の分析論と計画論の接点に関する研究
- 地理情報システム(GIS)による実証研究
- 都市空間解析特論・同演習

E-mail: htama@tmu.ac.jp
URL: <http://www.ues.tmu.ac.jp/cus/>



都市解析学の基礎理論やシミュレーションから応用的な話題まで

計量的・数理的手法で都市や地域を解析する研究を行っています。理論的考察、実証分析、シミュレーション等多方面に及びますが、共通しているのは、都市や空間に内在する秩序やポテンシャルを読みとり、計画論との接点を探ろうというスタンスです。また、コンパクトシティや持続可能性などの今日のテーマも、そういった研究の延長としてアプローチするという姿勢で臨んでいます。主要な研究の解説については、左記のURLから、「教員紹介」→玉川の「教員HP」→「研究内容のポイント解説」とたどって見て下さい。